

「主の弟子の真価」

2011/3/20

東日本大震災とその余波

- ▶ 原子力発電所の放射能漏れ事故
- ▶ 物流網の破壊による物資供給不足
- ▶ 電力供給不足による停電



- ▶ 不必要な警戒
- ▶ 物資の買い占め・買いだめ
- ▶ 詐欺やチェーンメール

パニックになった弟子たち

そこで、弟子たちは群衆を後に残し、イエスを舟に乗せたまま漕ぎ出した。ほかの舟も一緒であった。激しい突風が起こり、舟は波をかぶって、水浸しになるほどであった。しかし、イエスは艫の方で枕をして眠っておられた。弟子たちはイエスを起こして、「先生、わたしたちがおぼれてもかまわないのですか」と言った。イエスは起き上がって、風を叱り、湖に、「黙れ。静まれ」と言われた。すると、風はやみ、すっかり凪になった。イエスは言われた。「なぜ怖がるのか。まだ信じないのか。」

<マルコ4:36-40>

恐れず、あわてない！

- ▶ 突然の嵐で船が沈みそうになったが、イエス様は「枕をして眠っておられた」
- ▶ パニックになった弟子たちはイエス様を責めた
 - 弟子たちは漁師で操船の専門家なのに！
 - イエス様が眠っていることと嵐とは無関係なのに！
- ▶ イエス様は嵐を静め、「なぜ怖がるのか。まだ信じないのか。」と言われた
 - 神が共におられるなら、何も恐れる必要はない

思い悩むな！

「今日は生えていて、明日は炉に投げ込まれる野の草でさえ、神はこのように装ってくださる。まして、あなたがたにはなおさらのことではないか、信仰の薄い者たちよ。だから、『何を食べようか』『何を飲もうか』『何を着ようか』と言って、**思い悩むな。それはみな、異邦人が切に求めているものだ。**あなたがたの天の父は、これらのものがみなあなたがたに必要なことをご存じである。」

<マタイ6:30-32>

永遠の命を生きる

- ▶ 私たちには明日の命さえ分らない
 - 「あなたがたのうちだれが、思い悩んだからといって、寿命をわずかでも延ばすことができようか。」 <マタイ6:27>
- ▶ 今を感謝して生きる
 - 「このように、わたしたちは揺り動かされることのない御国を受けているのですから、感謝しよう。」 <ヘブル12:28>
- ▶ 永遠の命の希望
 - 「はっきり言っておく。わたしの言葉を聞いて、わたしをお遣わしになった方を信じる者は、永遠の命を得、また、裁かれることなく、死から命へと移っている。」 <ヨハネ 5:24>

初代教会でも行われた支援活動

「その中の一人のアガボという者が立って、大飢饉が世界中に起こると“霊”によって予告したが、果たしてそれはクラウディウス帝の時に起こった。そこで、弟子たちはそれぞれの力に応じて、ユダヤに住む兄弟たちに援助の品を送ることに決めた。そして、それを実行し、バルナバとサウロに託して長老たちに届けた。」

<使徒11:28-30>

今こそ愛の実践を

- ▶ 噂や情報に過敏にならない
 - 風評被害こそ最も恐ろしい
- ▶ 自分だけが助かろうなどと考えるはならない
 - イエス様はご自分を犠牲にして私たちを救われた
- ▶ 今こそ与える信仰を実践しよう
 - 「受けるよりは与える方が幸いである」
- ▶ 私たちの態度こそ最強の証しとなる
 - 「真夜中ごろ、パウロとシラスが賛美の歌をうたって神に祈っていると…」

キリストの平和で心を満たす

「わたしは、平和をあなたがたに残し、
わたしの平和を与える。わたしはこれを、
世が与えるように与えるのではない。
心を騒がせるな。おびえるな。」

<ヨハネ14:27 >